



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 公大
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	472,376	3.7	32,052	△2.5	32,271	△3.5	23,599	5.9
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		24,871	百万円(-12.3%)	2025年3月期第3四半期	22,156	百万円(△18.3%)		
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	457.00		—					
	410.86		—					

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2025年3月期	545,120		293,197		53.1	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 289,554百万円 2025年3月期 293,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	102.00	—	130.00	232.00
2026年3月期(予想)	—	118.00	—	118.00	236.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) SANKYU-SBI M&A 1号 投資事業有限責任組合、
SANKYU-SBI イノベーションファンド 1号 、除外 一社 (社名)
投資事業有限責任組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	55,470,257株	2025年3月期	55,470,257株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,895,974株	2025年3月期	2,928,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	51,640,353株	2025年3月期3Q	54,225,525株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国での過剰供給の調整が続いていることが世界景気の重しとなっていますが、多くの国では、物価の落ち着き、生産・投資・消費で持ち直しの動きをみせています。米国では、個人消費は減速の動きを見せておりますが、設備投資は堅調な動きとなりました。中国では、米国以外への輸出増加の動きも見せましたが、内需である住宅販売・個人消費・設備投資の減速が続き、日系企業の生産・販売においても引き続き厳しい状況となりました。東南アジアでは、中国景気減速影響をうける一方、半導体需要の増加や内需の持ち直し等で回復がまだら模様となっております。国内経済では、堅調な設備増強・更新・環境関連投資が続く一方、関税問題・中国景気減速影響の継続に加え、人手不足・賃上げ等が消費・物流関連に影響しております。

このような経済情勢の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,723億76百万円と前年同四半期比3.7%の増収、利益面においては営業利益が320億52百万円と2.5%の減益、経常利益が322億71百万円と3.5%の減益、一方で政策保有株式の縮減を進めた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は235億99百万円と5.9%の増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾国際では、国内での新規作業開始、国内外において単価引き上げを実施しておりますが、国内でのプロジェクト輸送案件・海上コンテナ取扱量・倉庫作業が減少しております。

3PL一般では、3PL作業における主要客先での単価引き上げを進めております。一般物流では、主に中国域内での自動車部品・消費財等が内需不振の影響を受けて輸送作業等が低調ですが、コスト削減効果により一部の現法で採算が改善しました。また、国内ではスポット作業等の取扱いが増加となりました。

構内では、国内外客先での新規作業開始、海外での赤字作業撤退等の影響で収支改善効果がでております。

以上の結果、物流事業全体の売上高は2,210億31百万円と前年同四半期比0.6%の減収、セグメント利益（営業利益）は76億40百万円と前年同四半期比7.4%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は46.8%であります。

② 機工事業

設備工事では、国内産業の設備更新・脱炭素需要等を背景に、国内での鉄鋼・化学関連等設備建設・更新工事、環境関連工事の増加に加え、米国でのEV関連の建設工事が増加しました。一方、海外において一部の工事代金で貸倒引当金を計上しております。

メンテナンスでは、2024年12月に新たに連結対象の子会社が1社加わった影響で前年比売上が増加しておりますが、利益面では国内SDM（大型定期修理工事）の工事量がマイナ一年による影響等で減少しております。

以上の結果、機工事業全体の売上高は2,298億8百万円と前年同四半期比8.3%の増収、セグメント利益（営業利益）は226億10百万円と前年同四半期比5.9%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は48.6%であります。

③ その他

設備建設・定修関連工事等の需要に伴う機材賃貸の増加に加え、機材・資材の新規購入コスト等が減少しております。

以上の結果、その他全体の売上高は215億36百万円と前年同四半期比1.9%の増収、セグメント利益（営業利益）は18億27百万円と前年同四半期比10.4%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.6%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,739億54百万円であり、前連結会計年度末に比べ63億1百万円、2.2%減少しました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,711億66百万円であり、前連結会計年度末に比べ62億33百万円、2.4%増加しました。主な要因は、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,535億51百万円であり、前連結会計年度末に比べ144億81百万円、10.4%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的としたコマーシャル・ペーパーの発行と短期借入金の増加、1年内償還予定の社債の減少の差等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は983億71百万円であり、前連結会計年度末に比べ106億84百万円、9.8%減少しました。主な要因は、長期借入金の流動負債への振替による減少等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,931億97百万円であり、前連結会計年度末に比べ38億65百万円、1.3%減少しました。主な要因は、自己株式の増加等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.7ポイント下回る53.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、現在のところ2025年10月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,542	46,907
受取手形、売掛金及び契約資産	218,581	208,462
有価証券	1,057	1,036
未成作業支出金	1,869	966
その他の棚卸資産	2,572	2,770
その他	8,918	14,152
貸倒引当金	△284	△342
流動資産合計	280,256	273,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,579	71,765
土地	57,916	57,942
その他（純額）	55,854	56,157
有形固定資産合計	184,350	185,865
無形固定資産		
のれん	1,592	1,454
その他	7,949	7,763
無形固定資産合計	9,541	9,218
投資その他の資産		
投資有価証券	32,541	39,007
その他	38,894	38,378
貸倒引当金	△395	△1,303
投資その他の資産合計	71,040	76,082
固定資産合計	264,933	271,166
資産合計	545,189	545,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,105	43,846
短期借入金	18,827	32,591
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	10,387	4,421
契約負債	3,170	3,165
賞与引当金	12,665	5,869
その他	31,914	33,657
流動負債合計	139,070	153,551
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	37,402	26,575
退職給付に係る負債	31,204	31,823
その他	25,448	24,971
固定負債合計	109,055	98,371
負債合計	248,126	251,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,775
利益剰余金	230,048	240,844
自己株式	△13,056	△28,832
株主資本合計	258,327	253,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,313	15,892
繰延ヘッジ損益	△0	2
土地再評価差額金	△69	△152
為替換算調整勘定	13,812	12,331
退職給付に係る調整累計額	8,828	8,073
その他の包括利益累計額合計	34,884	36,146
非支配株主持分	3,851	3,643
純資産合計	297,063	293,197
負債純資産合計	545,189	545,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	455,679	472,376
売上原価	401,038	416,186
売上総利益	54,640	56,190
販売費及び一般管理費	21,770	24,137
営業利益	32,870	32,052
営業外収益		
受取利息	724	452
受取配当金	1,020	966
その他	783	936
営業外収益合計	2,527	2,355
営業外費用		
支払利息	901	1,004
為替差損	117	255
その他	943	876
営業外費用合計	1,962	2,137
経常利益	33,435	32,271
特別利益		
投資有価証券売却益	570	2,119
受取補償金	—	339
特別利益合計	570	2,459
特別損失		
減損損失	169	145
特別損失合計	169	145
税金等調整前四半期純利益	33,836	34,585
法人税等	11,247	10,917
四半期純利益	22,588	23,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	309	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,278	23,599

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	22,588	23,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,847	3,582
繰延ヘッジ損益	△18	2
為替換算調整勘定	1,850	△1,617
退職給付に係る調整額	△416	△764
その他の包括利益合計	△431	1,203
四半期包括利益	22,156	24,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,810	24,945
非支配株主に係る四半期包括利益	346	△73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

SANKYU-SBI M&A 1号投資事業有限責任組合及びSANKYU-SBI イノベーションファンド 1号投資事業有限責任組合を設立し、中間連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当社普通株式2,594,800株を13,044百万円にて取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が13,044百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2023年5月10日及び2024年3月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2024年4月15日付で自己株式3,185,209株を消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が12,252百万円及び自己株式が12,252百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(自己株式の取得)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当社普通株式1,988,000株を15,877百万円にて取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が15,877百万円増加しております。

(自己株式の処分)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式22,318株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が60百万円増加し、自己株式が112百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	222,426	212,125	434,551	21,128	455,679	—	455,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,727	2,722	5,449	1,731	7,181	△7,181	—
計	225,153	214,847	440,001	22,859	462,860	△7,181	455,679
セグメント利益	7,115	24,033	31,148	1,655	32,803	67	32,870

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額67百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	221,031	229,808	450,839	21,536	472,376	—	472,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,673	2,829	5,502	1,341	6,843	△6,843	—
計	223,704	232,638	456,342	22,878	479,220	△6,843	472,376
セグメント利益	7,640	22,610	30,251	1,827	32,079	△26	32,052

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額△26百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	14,457百万円	15,143百万円
のれんの償却額	24〃	137〃